

令和4年度 自己評価・施設関係者評価結果

本園における自己評価の結果について、下記のとおり公表いたします。この評価結果を踏まえ、今後もより良い教育・保育が提供できるよう努めてまいります。

＜令和5年6月 みなみ認定こども園＞

1. 開催日時 令和5年5月17日（水）18：30～19：40
2. 開催場所 みなみ認定こども園 病後児室
3. 評価委員 委員長 菊野淳一（社会福祉法人北見福祉会評議員）
副委員長 成中 憲（南仲町町内会会長）
委員 幾島貴也（みなみこども園父母の会会長） ※都合により欠席
4. 園説明者 園長：杉浦 潤 副園長：近藤恵美
5. 評価の方法について
 - (1) 本園の職員一人ひとりが、A：大変良い（4点）、B：良い（3点）、C：一部検討が必要（2点）
D：改善が必要（1点）により、自己点検・自己評価を行いました。
 - (2) 全職員分の集計を行い、その平均値が「1.5以下をD」、「1.5～2.4をC」、「2.5～3.4をB」、「3.5以上をA」とし、本園としての自己評価を記入しています。

6. 教育・保育目標について

- *いきいき遊び 強い心身をもつ子ども
- *他を思いやる 心豊かな子ども
- *自分で考え のびのび行動する子ども



評価項目		評価	評価コメント（取組状況）
理念等	「理念」や「教育・保育目標」が明文化され、周知が図られている。	B	○法人としての理念や、みなみ子ども園としての「教育・保育目標」は明文化されており、ある程度周知されているが、より意識させたい。
経営状況	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	A	○法人・こども園運営を含めて、北見福祉会として中期事業計画を策定して取り進めている。 ○事業計画は毎年、成果と課題を理事会等で協議している。更に課題を明確にし、具体的な取組を進めていく。
	本年度、もしくは中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	A	
指導目標	指導計画について、毎年及び毎月ごとに反省・検討し、子ども達の育ちを第一に考え、教育・保育に活かしている。	A	○毎月反省を行い指導計画を作成すると共に、年度末には1年間の反省を基に次年度の全体計画を作成している。また、こうした教育・保育に活かすシステムが出来たことが高評価に繋がっており、今後も同様な取組により、より良い指導計画と実践を積み上げていきたい。
人権尊重	子ども一人ひとりに寄り添い、子どもが自分の思いを伝えることができるように配慮している。	B	○子ども一人ひとりに寄り添う教育・保育をすることが求められているが、自身の指導が未熟であると感じている保育教諭が多い。 ○現状の保育教諭数でいかにより良い教育・保育を実施するか、研修等を通して質の向上を図りたい。
	子どもの心を傷つけたり、人格を無視するような言動をしないよう、十分配慮している。	A	
園行事	指導計画をもとに行事のねらいを定め、それが達成できるように実践している。	B	○各種行事がコロナ禍により中止や縮小となり、計画通りに実施できなかった結果であり、色々な制限がある中で、各種行事のねらい達成に向け試行錯誤の対応であった。
発達援助	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	B	○子ども一人ひとりの個性や家庭環境を理解し、保護者とともに子どもの成長を促すことが大切であるが、個に応じた理解や対応等、課題があると考ええる。 ○連絡帳や送迎時の情報提供も行っているが、よりニーズに応える教育・保育を展開できるよう、理解や連携の仕方の改善を図っていくことが望まれる。まずは子ども一人ひとりをしっかり見とれるような策を検討していく。
	子どもの言葉（幼児は行動や表情）によく耳を傾け、丁寧に対応している。	B	
	基本的な生活習慣については、家庭と連携しながら（朝夕のお話や連絡帳等も含め）、子どもの状況に応じて対応している。	B	

評価項目		評価	評価コメント（取組状況）
教育・保育内容	年齢や子どもの興味に沿った遊びを工夫している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○身体を使った遊びや素材を使った表現活動は、どのクラスも日頃から実践しようと努力している。 ○リズム運動やお散歩等は、特に毎日の活動に取り入れ、どのクラスも上達が見られる。年齢相応のより質の高い教育・保育、子ども達の興味を引き出す教育・保育の実践には、まだまだスキルを高める必要がある。 ○キャリアアップ研修の受講を含め、保育教諭一人ひとり意識することが重要である。研修できる環境整備を進めていく。
	身近な自然とかかわる機会を作り、子どもの様々な興味を引き出し、自然の素材を教育・保育に活用している。	B	
	身体を使った様々な遊びを工夫して実践している。	A	
	様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮している。	A	
保育環境	保育室や遊戯室、園庭等、園舎内外の整理整頓を心掛け、危険なものを放置しないなど安全に配慮している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○職員で分担しながら、保育環境の維持・改善に努めている。危険な個所があれば、すぐに管理者に報告する体制はできており、修繕も素早く対応する様意識している。 ○感染症対策が続いており、消毒作業も引き続き実施していく。
	保育室やトイレ及び教育・保育用品の衛生管理に留意し、定期的に消毒している。	A	
食育等	楽しくゆったりと食事ができるように、また、個人差に応じた食事介助・指導に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○個人差に応じた食事介助は、より意識して行うことが望まれる。コロナ禍で保育教諭が別室で交互に食事をしており、人手が不足しがちなことはいなめない。 ○園の畑で収穫した野菜は、できるだけ早く調理して子ども達が食べられるようにしたいが、諸事情で難しいこともある。子ども達は畑での活動を喜び、進んで水やりや草取りをする子もいる。 ○給食担当職員を中心に相談しながら行事に合わせたメニューを提供するよう努めている。子ども達は喜んで行事メニューを食べている様子が覗える。
	給食や収穫物の調理等を通して、食材への関心や食べる意欲を育てている。	B	
	各行事に合わせたメニューを工夫して提供している。	A	
障がい保育	保護者の理解のもと、関係機関や医療機関と連携を図り、指導・援助を受けている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○支援が必要と思われる園児の中で、市子ども総合支援センターに通う子が数名おり、担任・園長ときらり職員で情報交換をしている。 ○市教委職員に来園依頼し、気になる子の相談や指導方法について助言を受けることもある。暴れたり保育室を抜け出したりする園児も数名おり、個に応じた指導が難しい場面もあるが、本人や保護者と話し合いを深めて対応する必要がある。
	個々の障がいを理解して、教育・保育にあたっている。	B	
健康と安全	避難訓練や交通安全指導については、年間計画に基づいて実施している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練は計画に基づいて毎月実施している。警察署員による交通安全指導は、コロナ禍で実施できていないが、お散歩の際には、子ども達と安全な歩き方や交通ルールについて確認している。 ○子どもの体調変化にはどの職員も意識している。少しでも体調不良や微熱等の症状があれば、看護師や指導保育教諭で対応するようにしている。 ○園の重大事故が一番多いのは食事と午睡時であり、マニュアルを掲示して意識付けをしている。
	子どもの健康状態を把握し、体調の変化に速やかに気付くように配慮している。	A	
	食事中やお昼寝中の事故防止のため、マニュアルを基本に介助・観察を行っている。	A	
保護者支援	朝夕の送迎時及びクラスだよりや連絡帳・掲示板等を活用し、子どもの様子を伝え合うように努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者とのお便り帳の活用や送迎時の情報交換、保護者支援の在り方について取り組んでいる。 ○コロナ禍で参観日等が予定できない時期もあったが、子ども達の様子がわかる写真や記事を掲示し好評を得た。2月に参観日を再開し、保護者も子ども達も喜んでいた。保護者の悩み・苦しみに傾聴し支援できるよう、今後も研修会などを通してスキルアップを図りたい。
	参観日や懇談会等を通し、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A	
地域連携	地域の人々との様々な交流（学校や施設を含む）の機会確保に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍で小学校との交流や地域・保護者（祖父母等含む）の交流は停滞していた。その中でも小学校の参観日に出席したり、地域の介護施設に訪問し屋外でご老人達に踊りを披露したりと、出来る範囲で活動してきた。 ○市子ども総合支援センターや市教委、保育課や保健師の方との関係を一層密にしていきたい。
	必要に応じ、専門機関や関係機関との連携を図っている。	B	

全体を通して	<p>○こども園としての自己評価は「Bの上」となった。(全項目の総点数を項目数で除した点数が「A」には達していない。)</p> <p>○全体的な評価として、それなりに良い結果ではある。しかし、より向上心をもって園の運営を進めていきたい。</p> <p>○教育・保育については、本園の教育・保育目標に基づき、指導計画をベースとした実践を心掛けていきたい。</p> <p>○子どもの健康と安全については、配慮している。また、保護者との情報共有は、送迎時のお話やお便り帳で行っており、保護者支援に繋がっていると考え。気になる子の指導を含め、一人ひとりに寄り添った教育・保育に関しては、より配慮が必要であり、今まで以上に子どもの気持ちを受容していくことが望まれる。研修会等を活用して、教育・保育の質の向上に努めていく。</p> <p>○コロナの影響もあり、地域との交流は今一つであった。地域や関係機関との交流・連携を進めていく。</p>
--------	--

評価委員からの意見等	<p>○給食のアレルギー対応や、各行事での特別メニューなど、大変な努力をされていることが分かった。また、働く保護者のために、朝早くから夜まで、大変な仕事をされていることも分かった。</p> <p>○評価を見ていると、先生方が向上心をもって仕事をされていることが分かる。</p> <p>○自分達で植えた畑の作物を園で食べるというのは、食育の観点からも重要な取組だと感じた。</p> <p>○保護者支援も園の仕事であるとのこと。法人の支援事業も含め、先生方の仕事の多さに驚いている。</p>
------------	---